

第 209 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	2021 年 3 月 17 日（水）午前 10 時 00 分～11 時 30 分 経済調査会会議室
出席委員	加藤佳孝、小路直彦、竹本典道、土屋貴裕、野口貴文（委員長）（五十音順）

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																					
1. 前回議事概要の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回議事概要案が承認された。 																					
2. 「積算資料」4 月号土木系資材の価格変動の妥当性について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査対象資材のうち、4 月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 30%;"><品目></th> <th style="text-align: center; width: 20%;">[地区]</th> <th style="text-align: center; width: 50%;">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">【上伸した資材】</td> </tr> <tr> <td>異形棒鋼</td> <td>札幌、福井、近畿、中国、四国、那覇</td> <td>需要が停滞する中、中小物件で工事の中止や延期が散見されるなど、引き合いは低調。原料の鉄スクラップ価格が反発したことからメーカーは値上げ交渉を進め、浸透が遅れていた地区で価格転嫁が進み、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>H形鋼</td> <td>札幌、北陸（新潟除く）、近畿、中国、四国、那覇</td> <td>再開発物件や土木向けの需要は比較的堅調だが、中小物件は低迷が続いている。鉄スクラップ市況が反発する中、値上げの浸透が遅れていた地区では交渉が進展し、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>鉄スクラップ</td> <td>全国</td> <td>国内の発生量がいまだ回復途中の中、輸出向け需要は旺盛に転じ輸出向け価格も大幅上伸。電炉メーカーの工場は段階的に炉前購入価格を引き上げ、間屋筋も追随し、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td>全国</td> <td>2 月の中東産原油価格は産油国の減産継続と新型コロナワクチン接種による経済活動再開期待から一段と上昇。元売会社は段階的に卸価格を引き上げ、販売会社も価格転嫁を進め、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>ストレートアスファルト</td> <td>全国（那覇除く）</td> <td>スト・アス価格算定期間内の中東産原油価格は産油国の減産維持等からじり高で推移。ディーラーは道路舗装会社との価格改定交渉において元売卸価格上昇分の転嫁を進め、市況上伸。</td> </tr> </tbody> </table>	<品目>	[地区]	(理由)	【上伸した資材】			異形棒鋼	札幌、福井、近畿、中国、四国、那覇	需要が停滞する中、中小物件で工事の中止や延期が散見されるなど、引き合いは低調。原料の鉄スクラップ価格が反発したことからメーカーは値上げ交渉を進め、浸透が遅れていた地区で価格転嫁が進み、市況上伸。	H形鋼	札幌、北陸（新潟除く）、近畿、中国、四国、那覇	再開発物件や土木向けの需要は比較的堅調だが、中小物件は低迷が続いている。鉄スクラップ市況が反発する中、値上げの浸透が遅れていた地区では交渉が進展し、市況上伸。	鉄スクラップ	全国	国内の発生量がいまだ回復途中の中、輸出向け需要は旺盛に転じ輸出向け価格も大幅上伸。電炉メーカーの工場は段階的に炉前購入価格を引き上げ、間屋筋も追随し、市況上伸。	軽油	全国	2 月の中東産原油価格は産油国の減産継続と新型コロナワクチン接種による経済活動再開期待から一段と上昇。元売会社は段階的に卸価格を引き上げ、販売会社も価格転嫁を進め、市況上伸。	ストレートアスファルト	全国（那覇除く）	スト・アス価格算定期間内の中東産原油価格は産油国の減産維持等からじり高で推移。ディーラーは道路舗装会社との価格改定交渉において元売卸価格上昇分の転嫁を進め、市況上伸。
<品目>	[地区]	(理由)																				
【上伸した資材】																						
異形棒鋼	札幌、福井、近畿、中国、四国、那覇	需要が停滞する中、中小物件で工事の中止や延期が散見されるなど、引き合いは低調。原料の鉄スクラップ価格が反発したことからメーカーは値上げ交渉を進め、浸透が遅れていた地区で価格転嫁が進み、市況上伸。																				
H形鋼	札幌、北陸（新潟除く）、近畿、中国、四国、那覇	再開発物件や土木向けの需要は比較的堅調だが、中小物件は低迷が続いている。鉄スクラップ市況が反発する中、値上げの浸透が遅れていた地区では交渉が進展し、市況上伸。																				
鉄スクラップ	全国	国内の発生量がいまだ回復途中の中、輸出向け需要は旺盛に転じ輸出向け価格も大幅上伸。電炉メーカーの工場は段階的に炉前購入価格を引き上げ、間屋筋も追随し、市況上伸。																				
軽油	全国	2 月の中東産原油価格は産油国の減産継続と新型コロナワクチン接種による経済活動再開期待から一段と上昇。元売会社は段階的に卸価格を引き上げ、販売会社も価格転嫁を進め、市況上伸。																				
ストレートアスファルト	全国（那覇除く）	スト・アス価格算定期間内の中東産原油価格は産油国の減産維持等からじり高で推移。ディーラーは道路舗装会社との価格改定交渉において元売卸価格上昇分の転嫁を進め、市況上伸。																				

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果		
<p>○鉄スクラップの価格変動が大きいのに対して、異形棒鋼やH形鋼の価格は値動きが小さいが、流通面で時間差が生じるのか。</p> <p>○軽油について、国内需要が低迷している中で、価格が上昇しているのは原油相場の影響が大きいからか。</p> <p>3. 「積算資料」4月号建築系資材の価格変動の妥当性について</p>	鉄筋コンクリート U形	千葉	原材料コスト増加を理由にメーカーが2018年に値上げを打ち出す。当初交渉は難航したが、一昨年の台風被害による需要急増を機にメーカーが足並みを揃え売り腰を強めた結果、需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U形 自由勾配側溝	佐賀	員外社を中心とした競合から市況は低迷していたが、一昨年12月より道路用コンクリート製品工業組合が共同受注事業を開始し、値上げ交渉を継続。昨年5月に引き続き、市況上伸。
	コンクリート積み ブロック	松山	西日本豪雨の災害復旧工事等で需給のひっ迫が続いている。メーカーは製造コスト、運搬コスト増加分を転嫁すべく、昨年4月より追加値上げを実施。安定供給を優先する需要者が受け入れ、市況上伸。
	<p>・今月単月では、値動きに差がみられるが、例えばここ4ヶ月間でみると、東京地区では、鉄スクラップが15,000円/t、異形棒鋼が13円/kg、H形鋼が9円/kgの上伸となっている。鉄スクラップの価格上昇を受け、販売側は価格転嫁の値上げ交渉を続けているが、先月、鉄スクラップ相場が一時軟化した影響もあり、今月は交渉の進展に遅れがみられた。</p> <p>・需要が低迷すると販売数量が減るので、販売業者にとっては固定経費が重荷になる。量をかき集めて安値販売をしたいという思惑もあるかと思われるが、仕入れ価格が上がっているため、増加したコストの分は転嫁して販売していこうというのが現状だと思われる。</p> <p>・審査対象資材のうち、4月号で掲載価格に変動が生じる建築系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p>	<品目>	[地区]
【上伸した資材】 型枠用合板	全国	国内需要は低調だが、産地では悪天候による原木の出材減少と新型コロナウイルスによる労働者不足から生産コストが増加。流通側は仕入れ価格上昇から、強気の販売姿勢を継続し、市況上伸。	
正角材 杉 (KD)	福井、中部、近畿、四国	年度末の不需要期を迎え、荷動きは落ち着いている。国産材は原木の出材が回復しているものの、製材供給量の増加に至らず、市場にはややひっ迫感が残っており、一部地区で、市況上伸。	

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果										
<p>○電線・ケーブルの価格上昇に関して、原材料の銅価が上昇している理由は、リーマン・ショック前のような世界的な金融緩和による投機的な影響か、中国の需要の高まりによるものか。</p> <p>4. 「土木施工単価」春号土木工事費の価格変動の妥当性について</p> <p>○東京地区の鉄筋工の市場単価が下落しているが、週休2日が増えると単価が上がるのではないか。鉄筋工の場合、完全週休2日は難しい状況か。</p> <p>○鉄筋工のヒアリング調査で、現在は現場の稼働率が低下しているため、人手不足があまり影響していないとのことだが、外国人労働者の活用以外に人手不足への対策はあるのか。</p> <p>5. 「建築施工単価」春号建築工事費の価格変動の妥当性について</p> <p>6. その他 (1) 次回開催予定</p>	<p>平角材 米松 (KD) 全国 (東北除く)</p> <p>電線・ケーブル 全国</p> <p>・リーマン・ショック前のような投機的な影響もあると思うが、リーマン・ショック前と比べ、現在は中国での消費が世界の半分以上となり、中国の工業生産の動向に大きく左右される傾向がある。また、元とドルの為替の影響やLMEの指定在庫の増減の影響もあると聞いている。</p> <p>・審査対象工種のうち、春号で掲載価格に変動が生じる土木工種、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table border="1" data-bbox="625 1064 1476 1388"> <thead> <tr> <th data-bbox="638 1064 925 1108"><品目></th> <th data-bbox="925 1064 1093 1108">[地区]</th> <th data-bbox="1093 1064 1476 1108">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="638 1108 925 1142">【下落した工種】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1142 925 1388">鉄筋工</td> <td data-bbox="925 1142 1093 1388">東京</td> <td data-bbox="1093 1142 1476 1388">首都圏では新規案件に乏しく、需要が低調なことを理由に需要者は値下げ要求を強めている。専門工事業者は先行きの不透明感から慎重な構えであったものの、業者間の受注競争が増し、市況下落。</td> </tr> </tbody> </table>	<品目>	[地区]	(理由)	【下落した工種】			鉄筋工	東京	首都圏では新規案件に乏しく、需要が低調なことを理由に需要者は値下げ要求を強めている。専門工事業者は先行きの不透明感から慎重な構えであったものの、業者間の受注競争が増し、市況下落。	<p>米松は、米国での住宅需要増加と価格高騰で、採算性を重視した現地製材大手は対日供給を停止している。国内では品不足となっており、高値圏での取引が中心となり、市況上伸。</p> <p>需要は一部の再開発物件を除くと低調に推移。一方、3月初旬の国内電気銅建値はt当たり103万円と前月初旬比16万円の急騰。販売側は、銅価上昇分を販売価格に転嫁すべく売り腰を強め、市況上伸。</p> <p>・国土交通省では、従来変更で週休2日に対応していたが、現在は当初積算から4週8休を前提とした発注に切り替えている。設計労務単価も9年連続で上昇しており、徐々に浸透している状況と思われる。鉄筋工の場合、民間建築工事で週休2日の対応が遅れている状況もある。今回の東京地区の単価下落は、短期的な需要減少によるもので、長期的には上昇基調にあると考えられる。</p> <p>・現場で鉄筋を組むのではなく、工場段階でプレキャストの鉄筋を組んだり、コンクリート構造物自体を二次製品、初めから工場のプレキャスト製品に替える動きがある。鉄筋工の中では外国人労働者を増やす方向と、一部で機械式継手やヘッドバーと言われる加工済みの鉄筋を使うことによって加工度合いを減らして手間を減らす試みもなされている。</p> <p>・審査対象工種のうち、春号で掲載価格に変動が生じる建築工種、都市はなかった。</p> <p>・2021年4月16日(金)10時～12時と決定。</p> <p>(以上)</p>
<品目>	[地区]	(理由)									
【下落した工種】											
鉄筋工	東京	首都圏では新規案件に乏しく、需要が低調なことを理由に需要者は値下げ要求を強めている。専門工事業者は先行きの不透明感から慎重な構えであったものの、業者間の受注競争が増し、市況下落。									

価格審査委員会規約

(目的)

第 1 条 一般財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者による価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

(委員会の事務)

第 2 条 委員会は、代表理事の委嘱に基づき、次の事務を行う。

- 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとする。
- 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

(委員会の委員及び任期)

第 3 条 委員は公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、代表理事が委嘱する。

- 2 委員会は、委員 8 人以内で組織する。
- 3 委員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、非常勤とする。

(委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。

- 2 委員長は、委員会を代表する。
- 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(委員会の開催)

第 5 条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月 1 回開催する。

(審査の報告・助言)

第 6 条 委員会は、第 2 条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて代表理事に対し審査結果の報告または助言を行う。

(意見等の聴取)

第 7 条 委員会は、第 2 条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第 8 条 委員は第 2 条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、一般財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由、他調査機関の調査結果との比較資料等を委員会に提出するものとする。

附則

この規約は、平成 15 年 11 月 13 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 18 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 21 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 24 年 6 月 15 日から改定施行する。